

キャラクター名
ステラ・エステル

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ハヌマーン		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	メイド
	オプション		年齢	13	性別	おんなのこ
覚醒	生誕	衝動	自傷	初期侵食率	33 %	
出自	名家の生まれ	経験	死と再生	邂逅	師匠	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	33
肉体	4	1	1			6	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス・羅刹(タイラント)	P	N		
アンナ	P 大切な友達	N 嫌われることの恐怖		
支部長	P 尊敬	N 不安		
白面	P 執着	N 疎外感		
ヴァンピィ	P 有為	N 恐怖		
レイカ	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
完全獣化	3	6	マイナーアクション	至近	自身	自動成功		
効果: 肉体判定のダイスを+[LV+2]								
ハンティングスタイル	1	1	マイナーアクション	至近	自身	自動成功		
効果: 戦闘移動を行う。離脱もできる。封鎖の影響を受けない。1シーンLV回								
破壊の爪	1	3	マイナーアクション	至近	自身	自動成功		
効果: 攻撃力+[LV+8]、ガード値+1								
軍神の守り	1	1	オートアクション	至近	自身	自動成功		
効果: ダメージロールの直前に使用。カバーリングを行う。このカバーリングによって行動済みにならず、行動済みでも使用できる。1メインプロセスにつき1回まで使用できる。								
ベーシックリサーチ	2	1	Xジャーアクション		自身			
効果: 広範囲の音から情報を引き出す。すべての情報に組み合わせることができる。判定のダイスを+[LV+1]								
竜鱗	3	3	リアクション	至近	自身	自動成功		
効果: 装甲値を+[LV×10]してダメージを算出、重複可能。								
フルパワーアタック	3	4	セットアッププロセス	至近	自身	自動成功	80	
効果: そのラウンド中にあなたが行う白兵攻撃の攻撃力を+[LV×5]する。ただし、そのラウンドの間、あなたの行動値は0となる。								
コンセントレートキュマイラ	2	2	メジャー		自身	自動成功		
効果: 組み合わせた 判定のクリティカル値を-LVする。(加減値7)								
獣の力	1	2	メジャー	武器	単体	対決		
効果: このエフェクトを組み合わせた白兵攻撃を+[LV×2]する。								
真偽感知	1							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

幼いながらも非常に優秀で、炊事、掃除などの家事を見事にこなす。働き者で完璧主義の一面も見せるが、身長が低いと高所の掃除や物を取るなどには苦手で、失敗が少ない反面、ふとしたきっかけで立て続けにミスをしてしまうこともある。13歳オカッパ黒髪メイド

ステラは物心が付いた頃から親が居なかった。親のことも詳しくなく、知っているのは与えられた名前だけである。(本当は小さい頃から力に目覚めているが、本人もまだ気付いていない。)
アンリ・ダブラエアン(前にお世話になっていた領主の仮名)は古い知人から親のないステラを押しつけられたらしく、ステラのことを少々うとましく思っている。そのため些細なことで怒鳴られることが少なくなかった。それでも小さい頃はまだよかった方で、名家同士の交流の際にアンナと出会い、よく一緒に遊ばせてもらったっていたが、ある日アンナが日本に行くということで離れ離れになってしまう。それから事件は起こった。
ステラが10歳のある日のこと、ステラが大きめの怪我をしてしまい、騒ぎになってしまう。騒がれていた内容は怪我の大きさもさうだが、その大きめの怪我をステラが一瞬で治してしまった事、その時に獣のような姿になっていた事に騒がれた。ここで初めてアンリを始めとして周囲の人間に力の事が知られてしまい恐れられるようになる。
ステラ自身もこの時初めて自分の能力と今まで意識せずに使っていた(重いものが軽々持つことが出来たり)事に気が付き「この力を使えばもっとみんなに可愛がって貰えるのではないか」と思い力を意識して使うようになる。これがきっかけで褒めてもらいたいステラの気持ちとは反対に激しく疎まれるようになり、アンリはステラを事故扱いで殺せば良いのではないかと考え計画を立てる。計画は実行され、ステラは「悲しい事故で亡くなった」という事にされ、追放された。誰の目から見ても死んだと思われたがステラは死んで無かった。しかし、帰る場所などなく、何故自分がこんな目に合わないといけないのか、力なんて要らなかったと悲しみにくっていた所を「お前の力を使わせてくれ」と支部長に言われ、オーヴァードとして生きること11歳の時に決めた。

オーヴァードとして生きて二年ほど経ち13歳になったステラは時々アンナの事が気になっていた。今どこで何をしているのか?元気でやっているのか?と思いながら生きていた。
また、この二年の間に仕事をせず居座るのもいけなそうと思いついての仕事を学び、雇ってくれる家を探していた。本来、13歳のメイドなど雇ってくれる家など無いのだが…アンナの祖父母がステラを見つけて最初は驚いたが(死んだと思われていた為)良かったらうちに来ないかと言うことになり、リユネール家に支えることになった。